

令和6年3月24日 世界結核デーによせて



沖縄県北部保健所 山川 宗貞

毎年3月24日は世界結核デーです。結核の治療は直接服薬確認療法(DOTS)を前提としたピラジナミド(PZA)を含む多剤短期(180日)療法の普及や新しい抗結核薬の開発とその新しい抗結核薬を使用する更に短期間の治療計画が研究されています。昨年の9月に国連の結核に関するハイレベルミーティングが行われました。その中の報告で2022年に世界で結核と診断され治療を受けた人は750万人と過去最高の成果となりました。行われた取り組みの成果は同ミーティングで高く評価され、今年の世界結核デーのテーマは昨年と同じ“YES! WE CAN END TB”に決定したと発表がありました。しかし依然として世界ではアフリカやアジア太平洋地域において結核は蔓延しています。今の患者から感染を受けた者が高齢になり結核を発病する人の対策が必要なことを考えるとあと50年は結核対策を世界的にしていく必要があると考えます。

特にアジア太平洋地域の結核の状況は日本にも大きな影響を与えることとなります。結核予防会結核研究所の疫学情報センターの発行する結核統計プチノート(2023年9月19日)によると2022年に日本で届け出があった結核患者の中で外国生まれは1,214人で全結核届け出の11.9%であり、特に20歳代の届け出は602人で20歳代全患者数の77.5%にのびります。日本で学び、働く外国生まれの若い人たちは今後増えることが考えられるため、結核予防会結核研究所はイギリスのように結核の入学時スクリーニングの実施を検討していました。同研究所はこの数年間、入学時スクリーニングの実施に向けて厚生労働省や外務省、法務省と共に準備

をしています。すでに実施予定のアナウンスはあるので、近い将来、同スクリーニングが稼働を始めるでしょう。実際に保健所にいると入国から数年で発病した外国生まれの事例を見聞きするため入学時スクリーニングは一定の効果が見込めると考えます。その理由として、患者発生届け出時に濃厚接触していると考えられる人たちに対してQFT検査を行い、結核感染の有無をみるのですが、結核の高蔓延国から来ている人の場合、すでに子供のころに感染を受けていることが予想されます。QFT検査が陽性の場合、既感染なのか今回の患者からの感染なのか判断に困ることがあったり、医療機関で胸部CTを撮影するとすでに肺野に陰影があり、結核が発病している例も経験し判断に苦慮しているからです。入学時に結核のスクリーニングを受けることで結核が発症していたり、入学後すぐに発病する人を減らすことはその患者から感染する人を減らすことになり、みんなの公益になります。長期間滞在して働く外国人労働者の結核対策は重要であり、特に経済団体に要望したいことは、外国生まれの結核患者の場合、住環境も5~6人が一部屋に住んでいたりと複数の職場を掛け持ちしているため結核の感染が広がりやすい状況が多く、外国人就学者・労働者を呼び寄せる側にも一定の配慮(住環境や労働形態の改善)が求められると思います。

ここからは日本と沖縄県の現状について述べます。2022年の結核統計プチノートによると、日本全国の新登録結核患者は1万235人で10万対は念願であった10を切り8.2となりました。2022年(令和4年)の沖縄県の統計によ

ると沖縄県の新登録結核患者数は124人で10万対は8.4と沖縄県も10を切りました。ちなみに外国生まれの届け出は17名で県全体の13.7%でした。

結核は新型コロナ感染症のように人の行き来を通じてやってくる感染症になりつつあるため、将来的には入国時スクリーニングによる結核患者発見や治療完遂、また多剤耐性菌の検出と新しい抗結核薬による治療（高額なものが殆どです）など世界の結核に対して沖縄県や日本は引き続き対策を進めていく必要があると考えます。

医師会会員の皆様におかれましては、診療の際に結核を鑑別のひとつとして考慮していただけると幸いです。

資料 結核統計 プチノート 2022年
https://jata-ekigaku.jp/wp-content/uploads/2023/09/2022nenpo_putinote.pdf

出典：
 公益財団法人 結核予防会 結核研究所
 疫学情報センター
<https://jata-ekigaku.jp/>



原 稿 募 集

プライマリ・ケアコーナー (2,500字程度)

当コーナーでは病診連携、診診連携等に資するため、発熱、下痢、嘔吐の症状等、ミニレクチャー的な内容で他科の先生方にも分かり易い原稿をご執筆いただいております。
 奮ってご投稿下さい。

随筆コーナー (2,500字程度)

随時、募集いたします。日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などのほか、紀行文、特技、書評など、お気軽に御寄稿下さい。
 なお、スポーツ同好会や趣味の会(集い)などの自己紹介や、活動状況報告など、歓迎いたします。

いきいきグループ紹介コーナー (1,000字程度)

各研究会、スポーツ同好会や模合等の活動紹介などを掲載致しますので、どうぞお気軽にご紹介下さい。

発言席コーナー

会員の皆さまの御意見、主張を掲載いたします。奮ってご投稿下さい。

本の紹介コーナー (1,500字程度)

感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本をご紹介します。